

トーキョーアーツアンドスペースレジデンス 2022 成果発表展

## 水路から柔い空へ From a Dusky Canal to the Pale Blue Sky

2022年7月9日(土)～8月14日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷

### — 国内外のクリエイターたちによる、新しい日常における滞在制作の成果発表展

トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)では、2006年よりレジデンス・プログラム「クリエイター・イン・レジデンス」を開始し、東京や海外の派遣先を舞台に、ヴィジュアル・アート、デザイン、キュレーションなどさまざまな分野で活動するクリエイターたちへ滞在制作の機会を提供しています。

新型コロナウイルスと向き合うことに人々も順応しはじめた2021年は、縮小した規模ではあるものの、TOKASのレジデンス・プログラムも活動を再開しました。TOKASレジデンスでは2名の日本人アーティストが滞在制作を行い、昨年に続きベルリンとのオンライン・レジデンスも実施しました。また、約1年ぶりにアーティストを海外に派遣することもできました。

本展では2021年度にレジデンス・プログラムに参加した4名のアーティストによる成果を紹介します。

### ■ 展覧会概要 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、変更となる場合があります。

展覧会名:水路から柔い空へ [トーキョーアーツアンドスペース レジデンス 2022 成果発表展]

アーティスト:上村洋一、黒田大スケ、前谷 開、ルーベン・デルス

会 期:2022年7月9日(土)～8月14日(日)

会 場:トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間:11:00-19:00(最終入場は30分前まで)

休 館 日:月曜日(7月18日は開館)、7月19日(火)

入 場 料:無料

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース

提携都市/機関:ベルリン市(ドイツ、ベルリン)、HIAP[ヘルシンキ・インターナショナル・アーティスト・プログラム]、フィンランド文化財団(フィンランド、ヘルシンキ)

ウェブサイト:<https://www.tokyoartsandspace.jp/>

### ■ 関連イベント

アーティスト・トーク(予定)

2022年7月9日(土) 15:00-16:00 出演:黒田大スケ、上村洋一

2022年7月23日(土) 15:00-16:00 出演:前谷 開、ルーベン・デルス

<お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当:市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

## ■ 展覧会について

---

今回レジデンス成果展に参加する4名のうち3名は、東京都墨田区のTOKASレジデンシーで滞在制作を行いました。新型コロナウイルスの影響が依然残る2021年は、海外からの参加者はほとんど居らず、黒田と前谷はほぼ一人で滞在期間を終えました。例年であれば滞在アーティストたちが交流し生活していた場はひっそりとし、彼らはその静けさの中、自身の身体や意識/無意識と向き合い続け、東京の街でのリサーチを進めました。

TOKASレジデンシーのすぐ横には人工河川である堅川が流れています。隅田川から東西に走るこの川は、その上を覆う首都高小松川線の高架によって、全体的に薄暗い印象を漂わせています。彼らはこの運河を日常的に見つめ、そこに都市の空白や虚無を見出し、何らかの気配を掴み取ろうとしました。

デルスは2021年秋に、ベルリンからオンライン・レジデンスで参加し、TOKASスタッフが協働して採取した近隣の音や風景のイメージを用いて、作品制作に取り組みました。本展覧会に合わせて改めてTOKASレジデンシーに滞在し、外廊下から首都高と川を臨む建物の一室で、東京での新たな発見を新作に表します。

一方、ヘルシンキに渡航した上村は現地での交流やリサーチを行い、北欧ならではの針葉樹の森や苔、冬の日照時間の短さ、環境に対する意識が高い生活習慣から、日本の都市部とは異なる落ち着いた空気を体感しました。特に、緯度の高さから感じる光の淡さや空の低さ、それらが風景と交わることで現れる優しい色合いが印象的であったといいます。

本展では、彼らがそれぞれの滞在制作を発展させたインスタレーションを発表します。都市計画において整備され、やがて地下に潜った水路の上で、また、手が届きそうな柔らかな空の下で、彼らが掴み取った空気や気配を作品から感じていただけるでしょう。

■ **参加クリエイター／広報用画像** ※この他にも広報用画像を用意しております。広報担当までお問い合わせください。

上村洋一 | KAMIMURA Yoichi

二国間交流事業プログラム<ヘルシンキ>

2021年9月～11月派遣

上村は、視覚や聴覚から風景を知覚する方法を探り、ワールド・レコーディングをはじめとするさまざまなメディアで表現しています。本展では、フィンランドでの滞在中、光や色、音などから得た抽象的で感覚的な体験を、サウンドやドローイングなどを用いて、サウンド・インスタレーションの形式で発表します。

【プロフィール】1982年千葉県生まれ。千葉県を拠点に活動。2010年東京藝術大学大学院美術研究科修了。主な展覧会に「RADIO DU VIVANT」(フランス国立自然史博物館・パリ植物園、2022)、「From Seeing to Acting」(Looiersgracht 60、アムステルダム、2021)、「Lands and the Beyond | 大地の声をたどる」(ポーラ ミュージアム アネックス、東京、2021)など。



1. 《Pelagos [Helsinki Cathedral]》2021  
紙に水彩、色鉛筆、鉛筆

黒田大スケ | KURODA Daisuke

国内クリエイター制作交流プログラム

2021年5月～7月滞在

歴史、環境、身体の関係性から、不可視の「幽霊」のような存在に形を与えることを主題に制作を行う黒田。東京の公共彫刻と、戦後実際にあったマッカーサー像建造計画についてリサーチをする傍ら、コロナ禍において、ほぼ自身一人のみでレジデンスに滞在していたという環境を重ね合わせることで、あり得たかもしれない架空の「誰か」との対話をインスタレーションで表します。



2. 《マッカーサー銅像ミーティング(オンライン)》2021  
ビデオ  
撮影: 飯川雄大

【プロフィール】1982年京都府生まれ。大阪府を拠点に活動。2013年広島市立大学大学院博士後期課程修了。主な展覧会に「未然のライシテ、どげざの目線」(京都芸術センター、2021)、「本のキリヌキ」(瑞雲庵、京都、2020)、「ハイパーゴースト・スカルプチャー」(Kanzan Gallery、東京、2019)など。「国際芸術祭『あいち 2022』」参加予定。

前谷 開 | MAETANI Kai

リサーチ・レジデンス・プログラム

2021年10月～12月滞在

自身の行為を変換し、確認するための手法として、主に写真を用いた表現を行う前谷は、東京を流れる川や水路に、都市の空白地点としての側面があることに着目し、リサーチを進めました。本展では、映像作品やセルフ・ポートレートなどの写真作品から、風景と身体の関係を探求しています。



3. 《Scape》2022  
4Kビデオ

【プロフィール】1988年愛媛県生まれ。神奈川県を拠点に活動。2013年京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)大学院芸術研究科表現専攻修了。主な展覧会に「Scape」(FINCH ARTS、京都、2022)、山中 suplex「血の塩／Salt of the Blood」(LEESAYA、東京、2021)など。

ルーベン・デルス | Rubén D'HERS

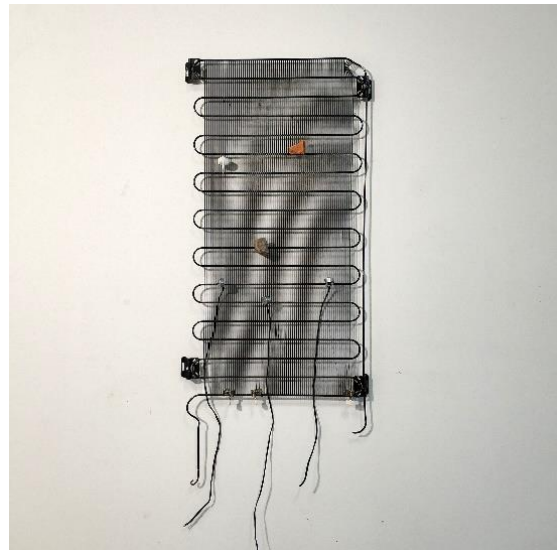
二国間交流事業プログラム<ベルリン>

2021年10月～12月

※オンライン・レジデンス

サウンド・インスタレーションと音楽が交差する活動を行うデルスは、意図的/非意図的に関わらず、頭に浮かぶ音のイメージや、音楽的幻聴について探求しました。

本展ではオンライン・レジデンス期間中にベルリンで制作したサウンド・スカルプチャーやペインティングをさらに発展させ、東京滞在中(2022年6月滞在予定)に見つけたオブジェクトを追加しながら、新たな作品を制作します。



4. 《droning supply》2021  
サウンド・オブジェクト  
©Rubén D'Hers

【プロフィール】1980年カラカス(ベネズエラ)生まれ。ベルリンを拠点に活動。2016年ベルリン芸術大学大学院(Sound Studies)修了。主な展覧会に「A Garden of Forking Paths - Finale 4(MaerzMusik)」(SAVVY Contemporary、ベルリン、2022)、「Plural Domains」(ハーン美術館、ゲインズビル、アメリカ、2021)、「Resonanz & Resilienz」(Sehsaal、ウィーン、2021)など。

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

Fax 番号: **03-5245-1154**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他( )

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送( 月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただき目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp